

アンドレ
先生…!?

朔夜^{さくや}

君のことは
私が守る

蜜色の髪

深く美しい
碧い瞳

ルカ…

じゃ…

守人^{もりと}

僕だけの
守人

神様



僕に

こんな幸せが
赦されるの
でしょうか……？



約3か月前



馬鹿なことを
考えるな

先祖返りだ
お嫁様だなんて
有り得ない

私は絶対に
認めんぞ……!

院長……

そんな戯言を
言っているうちは

ここから
出さんからな!

お嫁様

そのむかし

神様の遣いとして
地上に降りた動物の
末裔とされる者たちの中で

まれに
出現する先祖返りを

人々は
「神様のお嫁様」として
敬い奉った

その存在は
近代に向かうにつれ

表舞台から
影をひそめるも



現代となる
今もなお

鼠^{ねずみ}の
血族である
僕が

先祖返りして
もう3年……

朔夜

お嫁様は
幸福の象徴

この地に
降りかかる
呪いと穢れを
一身に受け

人々に
富と安寧を
齎^{もたら}すの



人知れずお嫁様は
各地に実在している





幸せな
お伽噺のように
繰り返し聞いた
その言葉

もしこの先
明夜がお嫁様に
なったなら
どんな素敵な
守人と
出会うのかしらね



でも
安心して
お嫁様には
守人がいるもの



だけど

あ……
はあ

あ……
はあ



どうか
されましたか？

鍵？
なぜ…

カチカチ

知らない声

誰…？

すぐ戻りますので
落ち着いて！

今
ナースステーションに
マスターキーを…

もう
こんな辛くて
苦しいだけの生活

ひとりきりじゃ
耐えられない

けて…

助けて…っ

誰か…

カチカチ

大丈夫ですか？

